

大阪都市魅力創造戦略2030（抜粋） 案

令和8年●月

大阪府・大阪市

「大阪都市魅力創造戦略2025」の取組みと今後の展望

めざすべき都市像	テーマ	戦略2025の取組み内容	現状と展望
大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市	文化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症により、文化芸術活動に影響を受けたアーティストや文化芸術団体等に対し、舞台公演等の実施にかかる会場使用料等を補助し、活動を支援。 ○ 大阪・関西万博を契機とした、歌舞伎・能・文楽等の上方芸能や、各種公演・アートイベント等の文化芸術プログラムなどを展開し、国内外に向けた大阪における文化芸術の魅力発信を強化するとともに、府内各地の文化資源のさらなる魅力向上を推進。 ○ 大阪中之島美術館の開館及び大阪市立美術館のリニューアルにより、都市魅力を向上。 	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪が持つ多彩な文化資源を都市魅力として更に活用することが求められている。 • 文化芸術活動の場の充実が求められている。 ➡ 大阪の文化を活用した都市魅力の向上や文化観光の推進、文化芸術拠点の充実や機能強化を行い、自由で多彩な文化芸術活動がより活性化する、世界に誇れる都市をめざす。
あらゆる人々が文化を享受できる都市			
世界に誇れるスポーツ推進都市	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大阪マラソンやアーバンスポーツなど国際的スポーツイベントの開催や、在阪スポーツチームと一体となった大阪スポーツコミッションの設立などにより、スポーツを楽しめる機会を創出するとともに、生涯スポーツの振興や気軽にスポーツに取り組める環境づくりを推進。 ○ 府内小学校や支援学校へオリンピック等のトップアスリートを派遣し、アスリートとの直接的な触れ合いを通じて、府民・市民のスポーツに関する感動や素晴らしさを提供するとともに、スポーツへの興味・関心を向上。 	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪が誇るスポーツの魅力を活かした、更なる誘客が求められている。 • 国内主要都市との大規模スポーツイベントの誘致競争が激化している。 • 大規模なスポーツ施設を有しているが、老朽化や、国際大会等の水準を満たしていない等の課題を有している。 • 集客力の高い大規模スポーツ大会の誘致が十分に行えていない。 ➡ 誘致競争力強化のため国際大会等の水準を満たす施設の整備に向けた検討を進めるなど、国内外の観光客を継続的に惹きつける、スポーツによる活力あふれる都市をめざす。
健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市			
大阪の成長を担うグローバル人材が活躍する都市	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人留学生の受入・定着促進を行うとともに、次代を担う生徒への英語力・コミュニケーション力の強化や、海外大学への進学に向けた総合的な支援を実施し、グローバル人材の育成を推進。 ○ 外国人相談窓口の運営や、災害時における迅速な多言語支援・情報発信等により、在住外国人が安全・安心に暮らせる環境づくりを推進。 ○ 総領事館等との意見交換会において大阪の魅力や強みを発信するとともに、万博を契機に来阪した海外の都市等との交流等により、都市外交を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪・関西万博を契機に高まった大阪の国際都市としてのプレゼンスを今後より一層高めていくことが求められている。 ➡ 国内外のグローバル人材育成・活躍を推進するとともに、大阪・関西万博を契機にさらなる連携強化を図った海外ネットワークを活用した国際ビジネスを中心とした交流の促進を行うことで、持続的に成長する都市をめざす。
出会いが新しい価値を生む多様性都市			

めざす姿と基本的な考え方

めざす姿

国際エンターテインメント都市OSAKA ～府民・市民が愛着を持つ、持続可能な魅力あふれる都市へ～

大阪が持つ、食や歴史、文化、芸術、スポーツ等を含む都市魅力のすべてが、「多くの人を魅了するエンターテインメント」であり、人と人をつなぎ、人々の心を豊かにするものである。その魅力に加えて、関西・西日本のハブ都市である強みを最大限に活用し、住民や企業をはじめ、あらゆるステークホルダーとともに、国内外からの誘客、交流拡大につなげることで、府民・市民の誇りや愛着につながる新たな魅力が創造され、さらに人々を惹きつける好循環が生まれる、持続可能な「国際エンターテインメント都市」をめざす。

基本的な考え方

本戦略では、次の3つの基本的な考え方のもと、6つのテーマを定め各種施策を推進する。

世界に通じる多彩な都市魅力の創造

個性を生かした都市魅力の強化

国際都市にふさわしい「おもてなし力」の充実

▶ 世界に通じる多彩な都市魅力の創造

大阪が有する都市魅力を生かした質の高いコンテンツの提供や、時間・場所を問わず大阪を満喫できる新たな楽しみ方の創出、まちづくりと連動した国際的な観光拠点や魅力空間の形成など、大阪の都市としての価値やポテンシャルを最大化することで、国内外から選ばれる世界水準の多彩な都市魅力を創出する。

▶ 個性を生かした都市魅力の強化

大阪・関西万博のレガシーを継承し、大阪の豊かな食や歴史、文化、芸術、スポーツ等の強みに更なる磨きをかけ、大阪のブランド力や知名度を高めることで、大阪を訪れるきっかけをつくり、何度でも訪れたいような大阪ならではの個性を生かした都市魅力をより強化する。

▶ 国際都市にふさわしい「おもてなし力」の充実

大阪の都市魅力に関わる人材の育成や活躍、DXの推進等に加え、自然災害等の危機事象からのレジリエンス力を備えるなど、来阪者が安全・安心で快適に滞在を楽しむことができる、多様性にあふれた国際都市にふさわしい受入環境の充実を図ることで、府民・市民が大阪に誇りや愛着を持ち、来阪をお勧めしたくなるような魅力あふれる都市をめざす。

上記の3つの基本的な考え方に沿って取組みを推進するためには、行政・経済界・地域団体など様々な主体がその担い手となり、それぞれの強みを最大限に発揮していくことが必要である。そのうえで、大阪府、大阪市、府内市町村や大阪観光局をはじめとする各主体が連携し、大阪の都市魅力の創造、効果的なプロモーション、受入環境の充実等の取組みを適切にマネジメントし、旅行者、民間事業者、府民・市民など、全ての人々が大阪に愛着を持ち、快適に過ごせる環境づくりを進め、大阪全体の活性化を図る。

テーマ別の取組み

都市の賑わいや活力を創出するため、6つのテーマを設定し、その実現に向けてベクトルをあわせて施策の実施に取り組む。

1	誰もが訪れたいくなる 世界第一級の観光都市	食や歴史、文化・芸術、スポーツなど大阪の強みに更なる磨きをかけるとともに、大阪が持つ資源の価値やポテンシャルの最大化等に取り組み、世界に通ずる魅力あふれる都市をめざす。
2	文化力を活用した 世界に誇れる魅力あふれる都市	大阪の持つ文化力の活用により都市魅力が向上し、世界中から人々が集い交流することで新たなつながりや創造が促進され、自由で多彩な文化芸術活動がより活性化し、世界に誇れる都市をめざす。
3	スポーツによる 活力あふれる都市	世界的なトップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会やスポーツを「する」機会の提供、大阪の地域資源を生かしたスポーツツーリズム等により、活力あふれる都市をめざす。
4	アジア・オセアニアでトップクラスの MICE都市	大阪・関西万博開催都市としての実績や統合型リゾート（IR）のインパクトを生かし、オール大阪での戦略的な取組みにより、世界水準のMICE都市をめざす。
5	国際交流を通じて 持続的に成長する都市	大阪の海外ネットワークを活用した多様な国際交流や将来の大阪に貢献できるグローバル人材の育成・活躍の推進により、新しい価値が生まれ、持続的に成長する都市をめざす。
6	さらなる誘客を図る 安心して楽しめる快適な都市	大阪を訪れる方々も地域の方々も、誰もが安全・安心・快適に過ごすことができる持続可能な都市をめざす。

3 スポーツによる活力にあふれる都市

重点 大規模スポーツ大会の誘致、アーバンスポーツ等新分野のイベントの開催

① 国際的なスポーツイベントの開催

- 集客力のある大規模スポーツ大会を誘致し、トップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会の提供
- ワールドマスターズゲームズ2027関西等に向けた機運醸成イベント等の展開
- 大規模アリーナ・スタジアムを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくり（関連：1-①）

② 大阪が誇るスポーツ資源を生かしたスポーツツーリズムの推進

- 大阪マラソンのさらなる進化・発展（関連：3-④）
- 大阪のブランド力を活用したスポーツイベントの誘致・開催
- 大阪のプロスポーツチーム・トップアスリート等と連携した都市魅力の発信、観光振興につなげるための取組みの推進（関連：1-③、3-④）
- スポーツツーリズム推進のための情報発信
- 手軽に行ける大阪の自然を生かしたツーリズムの推進（関連：1-④）

③ 大規模スポーツイベント開催を契機としたレガシーの形成

- ワールドマスターズゲームズ2027関西等を契機としたスポーツツーリズムの推進

④ スポーツを「する」機会、「ささえる」力の拡充

- 誰もが気軽にスポーツに取り組める機会の提供
- トップアスリートの指導力などを活用した子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心の向上
- スポーツを支える人材の育成
- 大阪マラソンのさらなる進化・発展（関連：3-②）
- 大阪のプロスポーツチーム・トップアスリート等と連携した都市魅力の発信、観光振興につなげるための取組みの推進（関連：1-③、3-②）
- ワールドマスターズゲームズ2027関西等を契機とした生涯スポーツの推進

⑤ スポーツを通じた健康増進

- 身近なコミュニティにおける気軽なスポーツ実践の場の拡充
- 企業・大学等と連携した事業の展開及びスポーツ健康科学の推進

参考指標

戦略の実効性や進捗度等を適切に把握し、大阪府市都市魅力戦略推進会議での評価・検証に資するため、大阪にかかる指標を設定しモニタリングを行う。

	参考値	出典
来阪日本人旅行消費額	2024年) 9,580億円	旅行・観光諸費動向調査 (観光庁)
来阪外国人旅行消費額	2024年) 12,935億円	インバウンド消費動向調査 (観光庁)
来阪外国人平均泊数	2024年) 3.6泊	インバウンド消費動向調査 (観光庁)
国籍別来阪外国人訪問率	2024年) 韓国30.7%、台湾26.7%、中国53.9%、香港31.0%、タイ32.6%、インド38.8%、英国49.4%、米国40.3%、カナダ52.0%、オーストラリア55.8% など	インバウンド消費動向調査 (観光庁)
世界の都市総合ランキング	2024年) 〈総合〉 35位 〈文化・交流分野〉 23位	世界の都市総合ランキング ((一財) 森記念財団 都市戦略研究所)
国際会議開催件数 (ICCA基準)	2024年) 31件	国際会議統計 (国際会議協会 (ICCA))
舞台芸術・芸能公演数 (※地方公共団体が設置する劇場、音楽堂等で、座席数300以上のホールを有するものが主催又は共催するもの)	2020年度) 385件	令和3年度社会教育調査 (文部科学省)
大阪にゆかりのあるプロスポーツ7チームの年間主催試合観客者数合計	2024年) 3,522,018人	各チーム公表資料
大阪マラソンの外国人エントリー数	2024年度) 9,234人	第9回大阪マラソン実績

	参考値	出典
成人の週1回以上のスポーツ実施率	2024年度) 51.7%	スポーツの実施状況等に関する世論調査 (スポーツ庁)
海外留学する高校生数	2023年度) 311人	高等学校等における国際交流等の状況について (文部科学省)
海外留学する大学生数(大阪府内の大学) ※3か月以上の留学	2023年度) 2,391人 (うち協定等に基づく留学2,134人)	日本人学生留学状況調査 (独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO))
府内高校生の英語力 CEFR A2レベル相当以上の英語力を取得または 有すると思われる生徒数の割合(公立高等学校 第3学年)	2024年) 57.8% ※2024.12.1時点	英語教育実施状況調査 (文部科学省)
府内在留高度外国人材数(在留資格別含む)	2024年) 50,705人 うち 高度専門職 2,101人 経営・管理 6,975人 技術・人文知識・国際業務 38,417人 等 ※2024.12.31時点	在留外国人統計 都道府県別在留資格別在留 外国人数 (法務省)
留学生が就職する全国の日本企業等のうち、大 阪の企業が占める割合	2024年) 12.2%	留学生の日本企業等への就職状況について (出入国在留管理庁)
府内外国人のビジネス日本語(J2以上) 取得者数	2024年度) 250人	BJTビジネス日本語能力テスト ((公財) 日本漢字能力検定協会)
大阪で働く外国人労働者数 (専門的・技術的分野の在留資格、特定技能、 特定活動、技能実習、資格外活動、身分に基づく 在留資格の内訳含む)	2024年) 174,669人 うち 専門的・技術的分野 62,468人 特定活動 6,394人 技能実習 27,557人 資格外活動 46,991人 身分に基づく在留資格 31,289人 ※2024.10.31時点	「外国人雇用状況」の届出状況について (厚生労働省)